

# 事業報告書

自 平成22年11月12日

至 平成23年 3月31日

## I 事業活動の概況に関する事項

当法人の活動目的は、人をも含めたすべての動物たちを幸せにすることです。そのためには、人も動物もより良い形で共生できる社会の構築が必要です。そこで、当法人は、人と動物のより良い共生を進めるための啓発、教育、研究の各事業、そして目的を達成するために必要な、あらゆる事業を国内外にその分野の関係団体、専門家、行政機関等に幅広く連携を求めて実施しました。

### 啓発事業

#### りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル

初心者向けドッグスポーツ大会、補助犬、ワーキングドッグのデモンストラーション、神戸市犬譲渡制度のPR等動物にかかわる様々な団体が一堂に会してイベントを実施しました。動物と暮らすことの楽しさを実感して頂き、飼育マナーの啓発や世代間交流の一助とし、人と人、人と動物の幸せな共生社会の構築に寄与することを目的としました。また、このフェスティバルは多くの団体、企業の皆様の協力、協賛を得て実施することができました。

開催日時 平成22年11月28日（日）10：00～17：00

開催場所 神戸市総合運動公園内（水上ステージ、球技場、水上ステージ前広場）

来場者数 4000人

共 催 神戸市動物愛護協会

特別協賛 ネスレ日本株式会社ネスレピュリナペットケア

協 力 神戸市動物管理センター、(社)日本動物福祉協会CCクロ、(公社)神戸市獣医師会、(社福)兵庫盲導犬協会、(社福)日本介助犬協会、(福)日本聴導犬協会、一般社団法人日本障害者乗馬協会(明石乗馬協会)、日本フリスビードック協会兵庫支部、NPO法人犬の総合教育社会化推進機構、ギグレース協会、Dogs Life、徳田建、GON&B 作

募集方法 ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など

## りぶ・らぶ・あにまるずシンポジウム

児童虐待、いじめ、学級崩壊など子ども達に関する問題が深刻化している中、閉ざされてしまった子ども達の心の扉を開く一つ的手段として動物介在療法が知られています。また、心に傷を負った子ども達のケアも重要です。今の子供たちに何が起こっているのか、課題を認識し、理解を深めるために「子ども達の無限の可能性と明るい未来を取り戻すために～動物介在療法と子ども達の心の危機管理」というテーマでお二人の方に情報提供して頂きました。

開催日時 平成22年12月5日(日) 13:30～16:00

開催場所 神戸ポートピアホテル地下1階「トパーズの間」

参加費 無料

共催 特定非営利活動法人RDA Japan、日本障害者乗馬協会

特別協賛 ネスレ日本株式会社ネスレピュリナペットケア

後援 環境省、兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、(社)兵庫県医師会、(社)神戸市医師会、(社)兵庫県獣医師会、(社)神戸市獣医師会

### 話題提供

- 1 「グリーンチムニーズにおける動物介在療法とその効果、子ども達の心の危機管理」木下美也子氏(グリーンチムニーズファーム教育活動部長)
- 2 「心に傷を負った子ども達のケアについて」中尾繁樹氏(関西国際大学教育学部教育福祉学科 准教授)

## りぶ・らぶ・あにまるず神戸アニマルケア国際会議

この会議は、阪神・淡路大震災15周年を契機として、人を含めたすべての動物の「命」に対する責任を考え、人と動物が幸せに共生できる社会の構築を目指し、震災で多くを学んで神戸の地から情報交流、情報発信を行っていきことを目的としています。2年に1度の開催を予定しているため、今年度は、平成24年2月に開催のための会議内容の検討や講演者や協力団体への協力依頼等の調整を行いました。

## ヒューメインセンタージャパン(HCJ)事業

人と動物の双方の福祉に向きあい、人も動物も幸せにするために、人と動物間の課題から派生する様々な問題へ、主に譲渡事業(飼い主のいない犬や猫達に新しい飼い主を探し譲り渡していく事業)支援を基盤とする研究・教育・啓発による解決策を提案・実施していく構想として、社団法人日本動物

福祉協会と共同で実施しました。セミナーのテーマは「シェルターメディシン〜より良い譲渡に向けて（第2弾）」でした。なお、第1回は平成22年6月に、NPO法人 Knots で実施しました。

開催日時 平成23年1月15日（東京会場） 9：30～16：30  
平成23年1月22日（大阪会場） 10：00～17：00

開催場所 東京会場 ヤマザキ動物専門学校本校舎  
大阪会場 大阪府立大学りんくうキャンパス

講師 田中亜紀氏（米国カリフォルニア州立大学デイビス校）  
水越美奈氏（日本獣医生命科学大学獣医学部専任講師）

主催

協賛 マースジャパンリミテッド

後援 環境省、（社）日本獣医師会、（公社）日本動物病院福祉協会

参加人数 東京会場 71名  
大阪会場 48名

募集方法 ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布など

#### **垂水区動物愛護フェスティバル**

神戸市垂水区からの受託事業。主に垂水区を中心に活躍されている動物関係団体の皆様のご協力により、動物と楽しく暮らすための情報提供や飼い主マナー向上を目的とした啓発イベントです。来場者には、狂犬病予防法の順守を条件付けており、啓発にもなっています。今年度は実施しませんでした（NPO法人 Knots で実施）。

#### **六甲山カンツリーハウスわんわんドッグフェスタ運営協力**

期間限定のドッグラン、ワンちゃん大運動会、ゲーム大会などの運営協力を行います。この事業に、たくさんの飼い主さん、ワンちゃんにご参加いただくことで、動物と暮らす楽しさ、幸せを実感して頂くものです。ひいては、より良い共生推進の一助となります。利用者には、狂犬病予防法の順守を条件付けており、啓発にもなっています。今年度は実施しませんでした（NPO法人 Knots で実施）。

#### **野生動物有効活用事業**

クッキーやケーキ、ひょうごニホンシジカなどは知的障害者作業所の方と共同で開発・製造しました。播州宍粟ジカシリーズは地元の主婦グループにより製造し、当法人において販売しております。ウェブサイトを通じて、野生動物の有効利用を促進、有害鳥獣の現状等の情報提供も行いました。この

事業の売り上げは「障害者の自立支援事業」に役立てることができました。

### 各種コンサルティング・相談業務の実施

動物と安全に暮らしていくための相談対応、ペット可集合住宅での管理組合、管理会社のサポート、野生動物との関わり方等人と動物の共生に係る様々な相談に対応します。また、人も動物も快適な住まいや旅行等の商品開発のためのコンサルティングを実施します。人と動物のより良い共生を推進し、人も動物も幸せにするために、必要な相談及びコンサルティングを実施しました。「りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル」の参加者をはじめ、電話やメール、FAX等で相談に応じました。相談には「愛玩動物飼養管理士」の有資格者である当法人の役職員が担当しました。

募集方法 ウェブサイト

### 障害者の自立支援事業

当法人が販売している安全安心な犬用手作りおやつのはんどは NPO 法人おーけすとら・びっと就労継続支援（B 型）事業所 Patch(パッチ)に製造を担当して頂いています。また、開発から関わって頂き、新商品の開発も共に行っています。

2002 年に Patch の創設者の方から次のようなご相談がありました。

Patch は、障害者の方が製造したものだから、と同情で商品を購入して頂くのではなく、正当な評価のもと、一般の商品と競争出来る商品作りを行うことで、障害者の方々が社会参加出来る作業所を目指しています。

そこで、意識の高い飼い主のニーズに合った安全、安心な犬用おやつを販売することが、障害者の方々の自立支援となるのではないかということで、一緒に開発、製造、販売に取り組むこととなりました。

その後、Patch は製造担当として、品質管理等にも注力され、商品の品質も認められて、今では多くの顧客が定期的に購入をして下さっています。その結果、モデル作業所として認められ、他所からの視察も多くなっています。

また、この事業の推進によって、障害者の方々が仕事に対するやりがいを感じ、当初の目的であった、メンバーの方達の通所費用を賄えるところまで、運営が進んでいます。

次年度以降もこのような形で自立支援を行っていきます。

支援内容 安心安全な犬用おやつ共同開発・製造・販売

### 情報提供事業

主にウェブサイト、メールマガジン等を通して、「りぶ・らぶ・あにまるず

フェスティバル」などのイベント開催情報の他、獣医師、看護師、シェルター関係者向けセミナー「シェルターメディシン」や各種イベントを通じて、幅広く不特定多数の方々に人と動物の共生に関わる様々な情報を提供しました。

提供方法 ウェブサイト、メールマガジン、印刷物の配布、新聞広告、イベント会場での展示など

## 教育事業

人と動物のより良い共生を進めるために役立つ情報を、主にインターネットを通して幅広く提供しました。実施した会議やシンポジウム、講演会等の貴重な内容については、可能な限りウェブサイト上で、日英両文にて公開し、当日会場に来られなかった全世界の不特定多数を対象に教育の機会を設けています。

また、人と動物のより良い共生を推進する為、一般市民はもとより、関わる専門家、学生等にとっても有益な知識、情報を提供するべく国際会議、セミナー、研修会イベント等を実施、その他学校の教育事業に協力する等、人材の育成、知識の向上、児童及び青少年の健全育成に貢献します。

### (1) 情報提供による教育機会の提供

人と動物のより良い共生の推進の為に、開催するシンポジウム、セミナー等の内容は全て後日、記録集（可能なものについては、日英両文にて製作）としてウェブサイト上で無料公開し、会場に来られなかった不特定多数の方々へ教育の機会を提供しました。ヒューメインセンタージャパン（HCJ）事業としてセミナー、講演会を実施し、情報と教育の機会を提供しました。

また、米国獣医師レベッカ・ローアデス氏から提供して頂いた海外の文献『米国災害時緊急対応プラン』を翻訳し、人と動物の共生に関わる情報を必要な方に提供しています。

### (2) 講師の派遣

専門学校、セミナー等への講師派遣を随時実施、人材育成、知識の向上及び青少年の健全育成に貢献しました。

## 研究事業

人と動物のより良い共生を推進する為に必要な情報収集と研究を行い、その情報を幅広く提供することで、啓発、教育事業を行いました。今年度はヒューメインセンタージャパン（HCJ）事業としてセミナーを実施しました（啓発事業（6）ヒューメインセンタージャパン（HCJ）事業参照）

また、企業、行政、団体等からの依頼により、人と動物の共生に関わる調査研究等実施する（CP6）。啓発、教育、研究いずれの事業を実施する場合においても、国内外の関係団体、個人、企業、行政機関の連携、協力は不可欠となっています。

公表方法 ウェブサイトに掲載

**その他、当法人の目的を達成するために必要な事業**

**国内外の関係団体、専門家、行政機関との連携促進**

平成22年度ペットフード安全法関係機関等連絡会議運営業務

**II 組織の運営に関する事項**

**1 総会の開催状況**

	開催年月日	主な議決事項等
臨時	平成23年1月16日	賛助会費の件（承認可決）
臨時	平成23年2月21日	定款変更（従たる事務所の廃止）の件（承認可決）

**2 理事会の開催状況**

	開催年月日	出席理事数	主な議決事項等
		出席監事数	
第1回	平成23年1月16日	6人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回臨時総会開催の件（承認可決）</li> <li>・賛助会費の件（承認可決）</li> <li>・正会員承認の件（承認可決）</li> </ul>
		1人	
第2回	平成23年2月21日	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回臨時総会開催の件（可決承認）</li> <li>・副理事長選任の件（承認可決）</li> <li>・従たる事務所廃止の件（承認可決）</li> <li>・正会員承認の件（承認可決）</li> </ul>
		1人	
第3回	平成23年3月29日	5人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度事業計画、予算承認の件（承認可決）</li> </ul>
		1人	

3 役員に関する事項

地 位	氏 名
代表理事	富永 佳与子
副理事長 (兼事務局長)	白川 尚範
理 事	山本 郁子
理 事	マクナーニ 真樹
理 事	佐藤 剣
監 事	菊谷 健二

4 辞任した役員の氏名

地 位	氏 名	退任月日・退任事由
副理事長	勝田 千恵美	平成23年1月15日・自己都合

5 法人の運営組織の状況に関する重要な事項  
従たる事務所の廃止（東京事務所の廃止）

III その他法人の状況に関する重要な事項  
特にありません。